

『ひきこもり』から考える ～だれもが生きやすい社会とは～

参加
無料

ひきこもりが長期化し中高年の当事者を高齢の親が支える「8050問題」が社会問題となり、コロナ禍の影響でひきこもりはより身近な問題となっています。
このセミナーでは、ひきこもりの当事者や家族と長年関わり続けたジャーナリストをお招きし、実際のエピソードを交えてご講演いただきます。
「ひきこもり」への理解を深め、多様な社会とのつながり方を学ぶことで、だれもが生きやすい社会にするためにできることを、考えてみませんか？

日程 令和5年3月2日(木)開催

対象 関心のある方※手話通訳あり

内容 ①講演(80分)
『「ひきこもり」から考える
～だれもが生きやすい社会とは～』
池上 正樹 氏

②行政説明(10分)
『神戸市のひきこもり支援について』
神戸市ひきこもり支援室

①会場参加 または
②オンライン視聴(後日)
どちらかの方法でご参加いただけます



講師 池上 正樹 氏

ジャーナリスト、KHJ全国ひきこもり家族会
連合会理事(広報担当)

〈講師プロフィール〉

KHJ全国ひきこもり家族会連合会を発足当初からサポートし、25年にわたり「ひきこもり」関係の取材を続け、1000人以上の当事者とやりとりを行う。対話の場「ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-」設立。東京都阿田市「ひきこもり」専門部会委員等も務めた。NHK「クローズアップ現代+」、ドラマ「こもりびと」、「ひきこもり先生」等の監修も務め、その他TVやラジオに多数出演。

〈主な著書〉

『大人のひきこもり』(講談社現代新書)、『ひきこもる女性たち』(ベスト新書)、『レボ「8050問題」～高齢親子「ひきこもり死」の現場から』(河出新書)他多数

①会場参加

日時: 3月2日(木) 14:00～15:45

【当日受付13:30～】

会場: こうべ市民福祉交流センター 201号室
(神戸市中央区磯上通3丁目1-32)

定員: 100名(先着順)

※感染症対策のため、当日マスクの着用をお願いします。

②オンライン視聴(後日配信)

3月20日(月)以降に、メールにて期間限定の
YouTube動画視聴をURLを送信します。

定員: 300名(先着順)

※当日のライブ動画配信ではなく、後日期間限定で公開する動画配信です。ご注意ください。

※視聴期間は2週間を予定しております。



申し込み方法は、裏面をご覧ください。

お申込み方法

受付期間：令和5年1月23日(月)～2月20日(月)

※先着順。定員に達し次第、締め切ります。

①会場参加

●市民福祉大学HP：“新着案内”「市民福祉セミナー会場参加」申込ページより

●FAX：以下の「会場参加用申込フォーム」に記入→078-271-5365へ

●TEL：078-271-5300へ

※申込締切以降、申込時にお知らせいただいたご住所へ受講決定通知をお送りします。



市民福祉大学HP
会場参加者申込ページ



市民福祉大学HP
オンライン視聴申込ページ

②オンライン視聴(後日)

●市民福祉大学HP：“新着案内”「市民福祉セミナーオンライン視聴」申込ページより

※3月20日(月)以降、申込時にお知らせいただいたメールアドレスへ視聴URLや研修資料をお送りします。

会場参加用FAX申込フォーム

以下、枠内をご記入のうえ送信してください

(FAX番号：078-271-5365)

ふりがな			
お名前	【所属】		(ない場合は記入不要)
住 所	〒 ー		
電話番号		F A X	
その他			

※お申込み時にお知らせいただいた個人情報は、本セミナーにかかる事務の目的のみで使用させていただきます。

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

市民福祉大学



お問合せ先

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32
こうべ市民福祉交流センター内
TEL：078-271-5300 FAX：078-271-5365
E-mail：daigaku@with-kobe.or.jp
HP：https://www.shiminfukushidaigaku.jp

交通アクセス

- 各線「三宮」駅より徒歩15分
- 地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅より徒歩7分
- ポートライナー「貿易センター」駅より徒歩5分
- 市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ